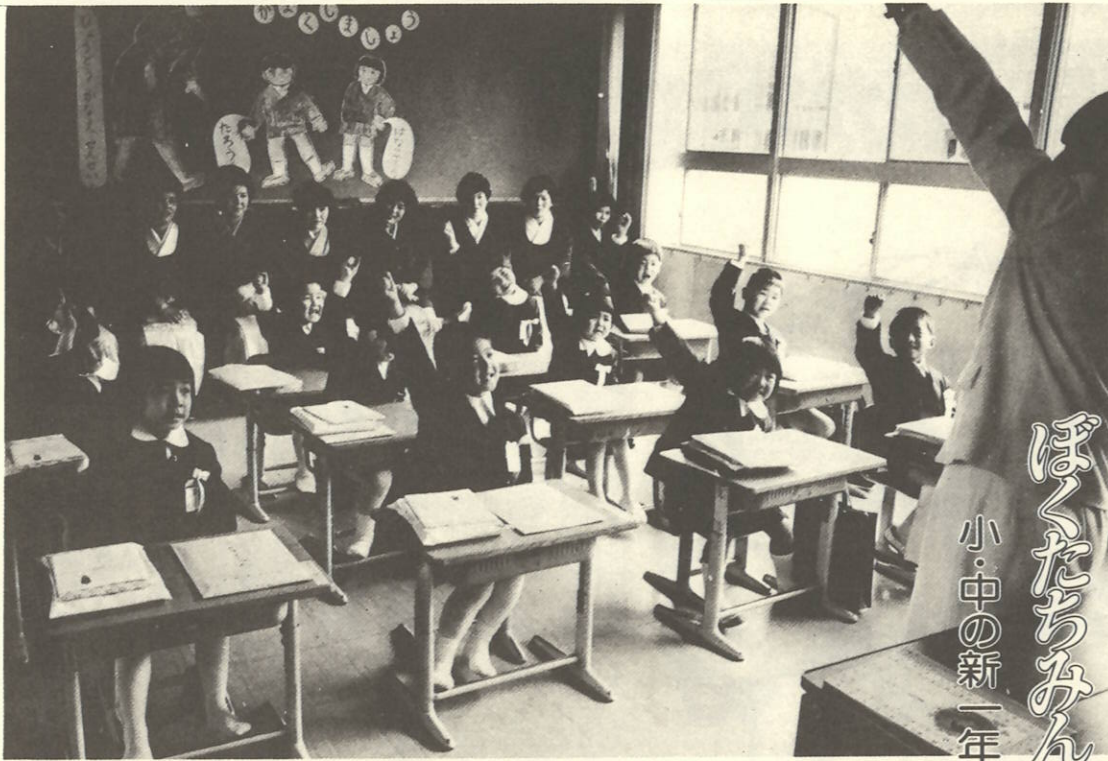


# 報伊方町

発行所  
愛媛県西予郡伊方町湊浦  
〒796-03 伊方町8-0211  
伊方町 編集室  
町長 公所  
豊 印刷所  
八幡浜市松柏 電話 22-0144

## 今月の紙面

- 二・三画……一般会計の当初予算
- 四画……九町診療所が開業
- 五画……町長・町議会議員選挙
- 六画……消防出初式・健康の志
- 七画……故郷の思い出・職員異動
- 八画……お知らせ・歳時記



豊之浦小学校へ入学した11人の子供たち。担任の兵頭先生の自己紹介やお話しを聞き、さっそく仲よしに

## ぼくたちみんな光ってる

### 小・中の新一年生二百七十一人

桜の花が咲きはこる四月八日、町内の小中学校では一斉に入学式が行われました。

この春、町内六つの小学校へ入学した児童は百四十一人。昨年より二十六人増えています。内訳は男子が六十三人、女子が七十九人です。中学校へは百二十九人が入学しました。昨年より十一人減りました。

豊之浦小学校(菊池巧校長)では十一人が入学。まだベキにおいがする真新しい体育館で入学式が行われました。このあと担任の先生の案内で教室へ入り、学校のことやお勉強のお話しに耳を傾けていました。

入学式も終り、希望に胸をくまらせて元氣よく通学していることと思います。特に新入学児の通学にあたって忘れてはならないことの一つに、交通ルールがあります。

★登校時間に余裕を持たせよう  
入学当初の子供は、新しい環境の中でいろいろなことに神経を使い、疲れています。睡眠不足で朝寝坊をしないよう夜は早めに寝かせ、朝は登校時間に余裕を持たせて送りだせよう。



★明けける間際にしからなないようにしよう  
しかれると、子供はそのことで頭がいっぱい。周囲の状況が目に入らなくなり、思いがけない事故のもとになります。子供が家を出るときは笑顔で、「いってらっしゃい」と声をかけるようにしましょう。

★明日の準備は寝る前にせよ  
忘れ物をしたため、途中であわてて取りに帰る遅い事故に遭うケースが多いです。夜、寝る前に翌日の準備をさせ、忘れ物をしないかどうかを点検する習慣を身につけさせましょう。

## 町長・町議会議員選挙

### 二十四日は忘れずに

投票開始は午前七時から

不在者投票

前日午後五時まで

今年二十四日は町長・町議会議員選挙の投票日です。貴重な一票を投票することが住みよい町づくりへの第一歩となります。

不在者投票は投票日の前日

午後八時開票

開票は投票日当日、午後八時から町民会館の大ホールで行います。今回投票のできるかたや不在者投票のできる要件などについては、五面に掲載しています。

## 春の全国交通安全運動

5月11日から20日まで

- 重点に運動が展開されます。
- ①歩行者及び自転車利用者、特に子供と老人の事故防止
- ②二輪車の安全利用、特に交差点での安全確認の励行とヘルメットの着用
- ③安全運転の確保、特に交差点での安全確認の励行とシートベルト着用の推進

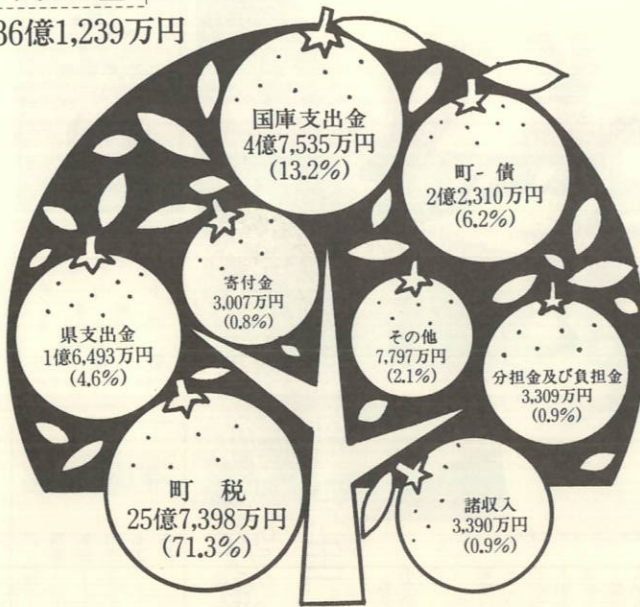
### 物損が七件

町内の交通事故は先月、物損が七件ありました。幸い負傷者はいませんでしたが、曲り角やガードレールなどにつぶかったものもです。そのほとんどが夜間か雨降り。ご注意ください。

発生件数	4月1日現在 17件 (3月...7件)
負傷者数	3人 (3月...0人)

# 58年度の 豊かな町づくりに36億円

入るお金  
36億1,239万円



## 二号機の営業運転で 償却資産税十五億円増える

まず、入ってくるお金から見てみます。項目別の構成図は左欄で、木に突った「みかん」のイラストにしてみました。町の最も大きな財源となっているのは町税で、全体の七

一三パーセントにもなり、金額にして二十五億七千三百九十八万円。昨年より十五億九千万円も増えています。これは前文でも紹介しましたように、伊方発電所二号機

償却資産税が見込まれるためです。しかし、この償却資産税は読んで字のとおり年々償却されます。率は一定にはありませんが、だいたい二一パーセント程度の割合での減少が予想されます。

第百十二回定例町議会で、昭和五十八年度の町の当初予算が決まりました。そこで今月は、この当初予算の中から一般会計の概要を紹介しよう。

昭和五十八年度一般会計の当初予算額は、三十六億一千二百三十九万円です。豊かで住みよい町づくりをめざした「デッカイ予算」を組みました。昨年度の当初予算とくらべ、伸び率にして二四・七パーセント、七億円あまりも増えています。これは、伊方発電所二号機の営業運転開始に伴ない、発電所施設などからの償却資産税が見込まれるためです。

主な事業をみますと、伊方小の体育館改築・水ヶ浦小の校舎改築と体育館新築の設計費を計上。さらに向小集落住宅・川永田集会所の建設、本町が独自で昨年度から始めた果樹振興と技能習得訓練費、地区自治振興促進積立金なども予算化しました。

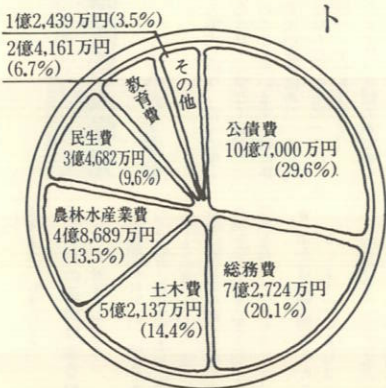
## 公債費

### 二九パーセント

使うお金は、土木費や教育費などの予算科目に主なる事業をひろって次ページの左欄にまとめてみました。一番多く使ったのは、二九パーセントを占める公債費です。昨年十二月に完成した町民会館の建設費や実施済の事業で、国などから借りたお金の返済にあててのもです。次いで多い総務費からは次ページで紹介いたします。

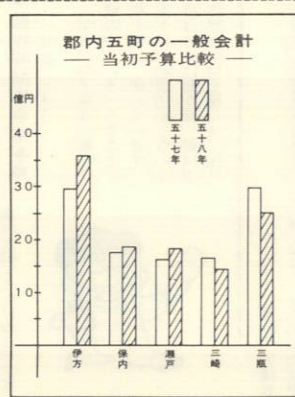
二番目に多いのが国庫支出金の二二パーセント、町の事業に対する国からの補助金などで四億七千五百三十五万円となっています。

次に、町が道路や学校施設の整備事業などをするために、国などから借りたお金の二二パーセントで二億二千三百万円。県支出金で四六パーセントの一億六千四百九十三万円。諸収入・分担金及び負担金などの順になっています。



## 使うお金

36億  
1,239万円



## 群を抜く伸び

### 五町の当初予算比較

昭和五十七年度・五十八年度の郡内五町の一般会計当初予算状況を、棒グラフを使って比較してみます。

特に五十八年度は、保内町と瀬戸町の低い伸び

や三瓶町や三崎町の減少傾向にくらべ、本町の伸びは群を抜いています。

町では今後さらに財源の確保に努め、豊かで住みよい活力のある町づくりに取り組んでいます。

## 第112回定例 議会だより

- 第百十二回定例町議会が三月八日から二十日までの日程で開催されました。こんどの定例会では、昭和五十八年度一般会計当初予算など四十九議案が上程され、審議の結果全議案が可決承認されました。主なものは次のとおりです。
- ◎国民健康保険診療所使用料及び手数料条例の制定
  - ◎非常勤職員の報酬等に関する条例の一部改正
  - ◎町選挙管理委員さんなどの非常勤職員の報酬が改定されました。
  - ◎国民健康保険診療所使用料及び手数料条例の制定
  - ◎国民健康保険診療所設置条例の一部を改正する条例
  - ◎九町診療所の設置に伴ない、加周診療所は九町診療所の出張診療所となりました。
  - ◎人権擁護委員の推せん
- 三月八日から二十日までの日程で開催されました。こんどの定例会では、昭和五十八年度一般会計当初予算など四十九議案が上程され、審議の結果全議案が可決承認されました。主なものは次のとおりです。
- 財政調整基金積立金 一億六千四百万円
  - 総合落成式 三百三十万円
  - 地区自治活動促進費 七百三十一万円
  - 湊浦(三)地区補助金 二百五十四万円
  - 伊方越地区補助金 二十八万円
  - 亀浦地区補助金 三十二万円
  - 久保地区補助金 百九十一万円
  - 西地区補助金 二百二十六万円
  - 民生費 身体障害者共同作業所整備 百万円
  - 農林水産業費 農地流動化資金補助に二百七十九万円が計上され、三千万以上有償で農地を貸付けする場合には補助金を交付します。
  - 教育費 豊之浦・有母塚の両小学校体育館にピアノを購入 百万円

人権擁護委員としてご尽力いただいた山口勇さんは、昭和五十八年二月二十八日をもって辞任されました。

後任に、城岡武夫さん(奥)が法務大臣宛に推せんされました。

◎昭和五十七年度一般会計補正予算(五・六号) 歳入歳出それぞれ九千六百七十九万四千九百七十九円に追加し、総額四十五億八千三百四十七万円になりました。主なものは次のとおりです。

# こうした計画を

右欄の使うお金の円グラフから主な事業と予算額をひろってみました。議会費から順に紹介します。

【議会費】 5,975万円

## 川永田集会所新築

【総務費】	7億2,724万円
電算式文書作成機購入	239万円
広報「伊方町」発行費	140万円
財政調整基金積立金	1億0,003万円
施設維持基金積立金	1,147万円
地区自治振興基金	1億7,000万円
税務・年金業務電算費	3,118万円
生活環境整備促進費	500万円
多元情報システム調査費	221万円
交通安全施設整備費	529万円
温排水対策事業	1,000万円
広報センター出資金	200万円
川永田集会所新築工事費	6,230万円
町長・町議会議員選挙費	198万円
参議院議員選挙費	245万円
納税組合奨励費	486万円

【民生費】	3億4,682万円
重度心身障害者医療費助成	787万円
心身障害者福祉給付金	398万円
国保会計繰出金	3,234万円
老人保健会計繰出金	1,967万円
敬老会補助金(一人当たり1,500円)	215万円
長寿祝金(一人当たり8,000円)	225万円
母子家庭医療費助成	107万円
保育用備品購入費	405万円
児童手当費	3,459万円
【衛生費】	9,407万円
看護職員修学資金貸付金	12万円
成人病検診費	425万円
胃集団検診費	220万円
婦人集団検診費	76万円
ゴミ処理業務委託費	1,060万円
八西衛生事務組合負担金(し尿)	1,108万円
水道事業会計補助金	150万円
小規模簡易下水道整備	495万円

【労働費】	1,063万円
失業対策事業費	1,063万円
【農林水産業費】	4億8,689万円
果樹振興試験園管理委託料	154万円
災害融資・近代化資金利子補給	657万円
果樹振興対策補助	425万円
集荷施設整備補助	120万円
果樹振興資金貸付金	3,000万円
南浦土地改良総合整備事業	2,100万円
果樹基盤整備事業	960万円
農道開設事業	400万円
地元負担軽減元利補給	1,382万円
農林漁業資金元利補給	2,920万円
農業水利推進基金積立金	1,800万円
伊予灘漁場改良	432万円
漁業振興資金	330万円
豊の浦漁港修築	1億1,700万円
伊方漁港関連道整備	6,700万円
烏津漁港局改良	3,000万円
九町漁港海岸保全	3,000万円

【商工費】	1,601万円
商工会補助金	500万円
中小企業振興資金利子補給	594万円
技能習得訓練貸付金	240万円
【土木費】	5億2,137万円
道路維持補修	500万円
九町九町越線改良	4,600万円

## 向小集落改良住宅も

二見大松線改良	1,700万円
九町女子線改良	1,800万円
42号線改良	1,700万円
大浜寺山線改良	1,800万円
伊方港改修	8,400万円
向小集落地区改良住宅建設	2億2,800万円
【消防費】	3,045万円
消防団員報酬	841万円
団員災害補償退職報償組合負担金	427万円
消防設備備品購入費	300万円
広域消防事務組合負担金	850万円

## 湊浦から大浜

今年度はさらに、国民年金と税務業務を計画しています。固定資産税及び住民税の課税、納税書の作成などを行います。

今年度はさらに、国民年金と税務業務を計画しています。固定資産税及び住民税の課税、納税書の作成などを行います。

一般会計と特別会計を合わせると、総額四十七億七千九百四十万円が予算化されました。

【教育費】	2億4,161万円
奨学資金貸付基金繰出金	500万円
小学校施設維持補修費	882万円
小学校修学旅行助成費	96万円
小学校4年生松山市社会見学	14万円
伊方小学校体育館改築地質調査費	100万円
水ヶ浦小学校体育館新築地質調査費	112万円

## 芸術劇場を開催

水ヶ浦小学校危険校舎改築設計費	200万円
水ヶ浦小学校体育館新築設計費	408万円
伊方小学校体育館改築設計費	223万円
九町小学校危険校舎改築基本設計費	31万円
中学校施設維持補修費	402万円
中学校修学旅行助成費	152万円
少年自然の家研修費(小・中)	127万円
選手派遣費(小・中)	110万円
新入児童心臓検診費	9万円
文化講演費	50万円
芸術劇場開催委託料	300万円
向集会所修繕費	106万円
視聴覚教材備品購入費	300万円
わんぱく学級開催費	15万円
【災害復旧費】	31万円
【公債費】	1億7,000万円
定期償還金	1億5,102万円
繰上償還金	7億0,000万円
【雑支金】	24万円
【予備費】	700万円

# 伊方小・水ヶ浦小に体育館計画 地区自治基金も積み立て



今年度改築予定の伊方小学校講堂。ひとまわり大きな体育館を計画。

使うお金が二番目に多いのが総務費の二、一パーセントです。この中には、昨年度からスタートした地区自治振興基金、一億七千万円などが含まれています。基金総額は昨年度と同額を積立しました。

## 特別会計予算

昭和五十八年度国民健康保険特別会計  
保険給付などの事業勘定が歳入歳出それぞれ五億二千七百四十万円。九町診療所運営など、直営診療所勘定の歳入歳出はそれぞれ一億三千三百八十四万円に決まりました。

昭和五十八年度住宅新築資金等貸付事業会計  
歳入歳出それぞれ二千七百六十万円が計上されました。

昭和五十八年度伊方町老人保健特別会計  
歳入歳出それぞれ二億八千九百九十五万円が計上されました。

実施は来年一月からの予定です。三番目が町道や港湾整備を行う土木費で、四、四パーセント。次いで農業の基盤整備を進める農林水産業費の一、三五パーセントとなっています。このほか、民生費、教育費、衛生費の順です。

教育費では伊方小学校の体育館改築、水ヶ浦小学校の校舎改築の設計費、同体育館の調査費なども計上して教育施設の整備に努めます。

昭和五十八年度港湾整備事業会計  
歳入歳出それぞれ四千万八千四百円が計上されました。

昭和五十八年度学校給食会計  
歳入歳出それぞれ四千万八千四百円が計上されました。

昭和五十八年度学校給食会計  
歳入歳出それぞれ四千万八千四百円が計上されました。

## 広報センター 日曜・祭日も開館

財団法人伊方原子力広報センターが、四月一日から発足しました。この財団法人は町と原・四国電力の三者が二百万円ずつ出資、原子力及びその平和利用に関する知識の普及啓発を行います。理事長には福田町長が就任、常務理事には元八幡浜地方局長の大塚 尚さん(宇和町)が決まりました。町からも職員を一人派遣。このほか女子職員が二人います。組織が充実したことで、展示ホールは土曜・祭日も開館することになりました。

## 果樹振興資金

### 5月末日までに農協へ申し込みを

果樹振興資金の貸付けを次の要領で実施します。貸付けを希望されますか。は、五月末日までに農協を通じて申し込んでください。

この貸付け制度は、昨年から本町が独自で行っているもので無利子の制度です。昨年度は七十戸の農家から申し込みがありました。今年度は上記の当初予算で三千万円を予算化しています。

こうした資金を活用し、農業経営の安定と生産力の増強にお役立てください。

◇対象農家  
町内に居住する農業者及び農業法人  
◇対象面積  
おおむね五アール(五畝)以上  
◇対象事業  
今年度施工及び完了するものが原則  
又は農協へおたすねください。

◇貸付けの決定  
資金(予算)の範囲内で審査のうえ決定します。  
◇貸付けの決定  
資金(予算)の範囲内で審査のうえ決定します。

◇貸付額  
標準事業費の5%以内で、百万円が限度です。ただし昨年度限りについては貸付けを受けた方は今年度対象になりません。  
◇償還期間・利息  
貸付けをした翌月から二年間据え置き、五年間均等償還をしていただきます。資金は無利子です。

◇資材の購入  
原則として農協を通じての施設・資材を購入すること条件です。  
◇申し込み手続き  
申請書(事業実施計画)添えて五月末日までに農協へ申し込んでください。

◇無加温施設  
(1)屋根かけ施設  
(2)単軌道(モノレール)施設  
(3)貯蔵施設(新築・増築・改築など、建物内部に断熱材及び換気装置を設置するもの)  
(4)貸付額

# いよいよいよいよ二十五日開業

## 九町診療所

### 栗田所長が外科・清水医師が内科を

今年二月末に建物が完成し、早期開業をめざし準備を進めていました九町診療所が、いよいよ四月二十五日から診療を始めます。

診療科目は、内科と外科です。すでに、清水和医師(二十九歳)が赴任されており、清水先生は、京都府のご出身です。

身で昭和五十四年三月に愛媛大学医学部を卒業。同年五月に医師免許を取得されています。

さらにその後四年間(今年三月まで)同大学院医学研究科で勉学に励まれ、医学博士の称号も持ちます。

清水先生は内科の診療をしていただくことになっていきます。

診療時間は午前八時三十分から午後五時、土曜日は午前中だけです。土曜日の午後と日祭祝日は休診します。

地元医師会や県の理解と、愛媛大学のご協力で若い有能な医師を迎えることができました。

これで、待ちに待った医師と看護婦、事務職員などのスタッフがそろいました。町民の皆さんの健康と生命を守るためにいよいよ開業します。

## 加周診療所

### 町営の施設に

九町診療所の診療所長は、嘱託で川永田の栗田龍

## わたしたちが

### よろしく!

町内で最初の直営診療所。真新しい建物・器材・スタッフとすべて新しいものづくめで診療を開始します。先生のお手伝い、皆さんのお世話は、わたしたち十一人がさせていただきます。

すばらしい環境と恵まれた設備を活用し、皆さんの期待に添えるよういっしょにうけんめい努めます。よろしくお願いたします。

## 町営施設では郡内一

### 超音波心臓診断装置も

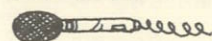
施設については広報「伊方町」の八月号及び三月号で紹介いたしましたように、町営診療所の規模や設備としては郡内一。最新の医療機器をそろえました。

一階には内科・外科の診察室、検査室、心電図室、X線室などのほか待合室や事務所に乗せたまま運べるエレベーター

### 車椅子のかたに

このほかに、患者をベッドに

## 先生に聞く



伊方町の印象は……。松山に十年近くいたので町名はよく聞いたことがあります。以前に三崎までドライブをしたことがあり、そのころは道路が悪かった印象がありますが、かなり整備されたようです。

医師になることを決意された理由があれば……。大学でワンターホテル部に所属。冬の石鎚山、穂高や御岳、大山なども登ったことがあり、化学が好きでした。その方面に思っていました。が、どうしたことが医学部から足指押まで行ったことでもあります。

## 初めまして清水です

先生の専門分野は……。宇和島の社会保険病院や吉田病院では呼吸循環器系の病気を主に担当。高血圧関係で博士号を取得しました。

この診療所の建物や施設はどうですか……。場所が久保地区の高台にあり、進入道路も新しく整備しました。車でも来られますがバスは駐車場があります。診療所の玄関前と建物の南側に普通車で約二十台取れます。

総合病院などのハイレベルの施設とくらべると見劣りするところもありますが、環境もよく、最新のX線装置や超音波による心臓診断装置や超もありますので、かなりの医療サービスが出来ると思えます。

昭和二十八年六月二十日京都府に生まれる。二十九歳。

市立九条弘道小学校、私立立命館中学校、同高専学校を経て愛媛大学医学部に入学。五十四年三月から同大学大学院医学研究科に学び今年三月卒業。

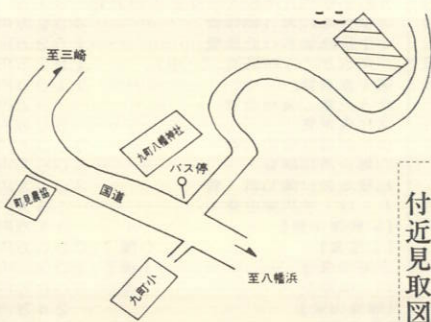
町立吉田病院や県立北宇和病院で実習。趣味は読書とレコード鑑賞。診療所前の医師住宅で母親ミツエさん(五十五歳)と二人暮らし。

## 二十台駐車

九町診療所の建物平面図は上欄に、位置図は左欄のとおり

## 付近見取図

## バス停から100メートル



## 近くて便利に

久保区長 井村義邦さん(38歳)



区長をおおせつかった。早や一年が終了。わたしの地区内だけでなく、九町全体の切実な要望の一つが

設置でした。立派な施設が、しかも地区内の目と鼻の先にできたいへんうれしく思っています。

先般の落成式の際、建物の内部を見せていただきましたが、内科と外科の診療や入院もできる最新の設備が整っていると聞き安心しています。

国道から診療所へ行く道路も整備され、高台で九町が一望できるなど、環境も申し分ありません。特にお年寄りのかたは歩いて行けるので非常に助かると思います。今までのようにバスに乗って病院通いをしなくてすむからです。

利用する立場のわたしたちとしては、立派な医師に来ていただき少しでも長くいてほしいと願っています。

# 町長・町議会議員選挙

## わたしたちの一票 貴重な「意志表示」に

### 二十四日は投票日

四月二十四日は、町長・町議会議員選挙の投票日です。

わたしたちの最も身近な代表を決めるたいせつな選挙。有権者の皆さん、一票は、わたしたちの貴重な「意志表示」です。無駄にすることをしないよう必ず投票しましょう。

投票時間は、午前七時から午後六時までです。



住みよい町づくりへの貴重な一票。第4投票区で

### 投票ができる人

#### 転入届から二カ月経過

今回の町長・町議会議員選挙で投票できるかは、本町の永久選挙人名簿に登録されているかです。

永久選挙人名簿に登録されているかとは、満二十歳以上で、転入届をした日から引き続き三カ月以上本町に住所を有しているかです。

▽昭和三十八年四月二十五日まで生まれたか。

▽昭和五十八年一月十五日までに本町へ転入届をしたか。

投票日の前日(四月二十四日)まで、本町の住所を有しているか。

### お手伝いは

事務長 末光 友幸(古屋敷)  
主事補 上島 香恵(加周)  
事務補 大野 信幸(二見)  
看護婦長 中野多摩恵(瀬戸町)  
看護婦 山岡 栄子(田之浦)  
井上 静(田之浦)  
堀内 友子(向)  
林 富美(豊之浦)  
橋 千ハル(須賀)  
山内 香澄(須賀)  
調理師 " " " " " "  
用務員 山内 香澄(須賀)



お手伝いをするスタッフ

二十三日)までに本町の住民でなくなったかとは、今回の選挙は投票することができません。

#### 入場券配布

二十日ごろに

投票できるかには、部落区長さんを通じて入場券を配ります。

### 早目に不在者投票

二十三日の午後五時まで

投票日に仕事などのやむを得ない事情で、投票所へ行くことができないかたは、早目に不在者投票をしましょう。

当日投票所へ行くことができない事情とは、たとえ次のような場合です。

◎当日、投票区外で仕事をすると、

◎やむを得ない用務で旅行または町外に滞在しなければならぬとき

◎選挙人が病気や負傷、妊娠、老衰などのため歩くことが困難なとき

こうした理由があるかたは、十七日の告示の日から投票日の前日(二十三日)までの間に不在者投票をすることができ



投票日に、あらかじめ投票所へ行くことができないことがわかっているかたは早目に

### 町の有権者数

三月二十七日現在、本町の永久選挙人名簿に登録されている有権者数は、男子が二千九百六十九人、女子が三千二百五十七人で合計六千二百二十六人です。

町内十三カ所の投票場所と有権者数は下欄のとおりです。なお、この有権者数は選挙当日の有権者数とは多少異なります。

投票区と有権者数				昭和58年3月27日現在
投票区	投票所	対象区域	有権者数	
第1投票区	伊方町役場	湊浦一、湊浦二、小中浦	1,003人	
第2投票区	仁田之浜公民館	仁田之浜	380人	
第3投票区	水ヶ浦小学校	大浜、中之浜	729人	
第4投票区	河内公民館	河内	353人	
第5投票区	有寿来小学校	伊方越、亀浦	237人	
第6投票区	川永田公民館	中浦、川永田一、川永田二	929人	
第7投票区	豊之浦集会所	豊之浦	606人	
第8投票区	町見公民館	奥、向、畑	647人	
第9投票区	九町小学校	須賀、久保、西	512人	
第10投票区	町見中学校	二見	123人	
第11投票区	二見小学校	加周、田之浦、古屋敷	462人	
第12投票区	大成集会所	大成	127人	
第13投票区	鳥津公民館	鳥津	118人	
	計		6,226人	

### 統一 地方選挙

四年に一回、春にまとめて行われる地方選挙のこと。

昭和二十二年四月の第一回地方選挙以来、今年で十回目を迎える地方選挙は、三月から五月の三カ月間に任期満了を迎える地方自治体の首長・議員合わせて二千六百九十件にもなります。

四月十日には北海道・東京都・大阪府など十二都道府県知事選挙をはじめ四十四道府県議、札幌・川崎の二政令指定都市首長、北九州を除く九政令指定都市の市議選挙があります。

### ◆◆◆ 12年に1回の当たり年 ◆◆◆

結果に注目  
有権者の皆さんにはより身近な地方選挙だけに、審判の結果が注目されています。

また、今年二十四日には一般の市の百四十六市長、三百八十六市議や、東京特別区の二十七区長と二十三区議、七百四十一町村長、一千三百七町村議の選挙が行われます。

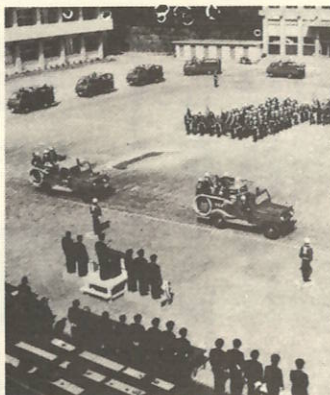
きれいな選挙で 住みよい伊方

# 出初式

## 消防

### 整然とした行進を披露

#### 功績団員の表彰は五十五人に



町見中学校グラウンドで開かれた出初式

町消防団(池田六郎団長)の出初式が、十六日町見中学校グラウンドで開催された。当日は町内にある十九の分団から団員三百三十五人、大浜と仁田の浜の女子火防隊二十人、四国電力伊方発電所消防隊十八人、合わせて三百七十三人が参加した。消防団恒例の出初式、整然とした分列行進や模範操法などを披露、消防団員の心意気を示した。

長年消防活動に功績のあった次のかたが表彰されましたので紹介します。(写真下)▽日本消防協会会長表彰

功績章：上田俊光(西)  
 勳章：二十年以上  
 吉本正一、井上紀年(小中浦) 井関隆彦(伊方越) 清家静雄(亀浦)

▽町長表彰

森元修治(奥) 木戸八郎(大浜) 中川常利(中之浜) 吉井伊佐男(仁田之浜) 木戸浄貴(河内) 後藤松夫(淡浦) 西田繁治(淡浦)

▽川内忠光(向) 渡辺喜文(須賀) 高田長充(須賀) 高田佐喜男(山下) 俵文(二見) 山瀬悦男(田之浦) 道土祝三(加周)

▽団長表彰

第七分団(中浦) 第十五分団(西・久保)

▽退職贈賞(銀杯) 授与

一号銀杯 山田一則(二見) 二号銀杯 畑中哲(仁田之浜) 上田義勝(河内) 米田勝彦(淡浦) 高門和夫(川永田) 阿部喜英(川永田)

## 健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

### 六歳きゆう歯

今月から「健康の窓」を設け、このコーナーを保健センターが担当して健康づくりの情報を提供いたします。今月は、入園、入学シーズンにちなみ、六歳きゆう歯を取り上げました。保健センターでは二月十日と二十五日、大浜と伊方

### 永久歯の中で

#### 最初に生える

六歳きゆう歯とは、五・六歳ころ永久歯として最初に生える歯のことです。この歯は乳歯の奥に生えるので気を付けてください。いつ生えたかわからないことがあります。また、完全に生える



人員報告をし、服装の点検を受ける大浜女子火防隊

## 留守はまかせて 意気盛んな女子火防隊

出初式に欠かせないのが女子火防隊の20人。今年も男子団員に交じって参加。出初式に花を添えました。

女子火防隊は昭和44年に、外に出る機会が多い父ちゃんに変わって、母ちゃんたちが「留守の間はわたしたちが守ろう」と仁田之浜で結成されたものです。その翌年には大浜でも結成され、現在まで活動を続けています。

それぞれ10人ずつ隊員があります。今年の出初式でも、男子団員をしり目に規律正しい入場行進や人員報告、油火災の消火訓練など意気盛んなところを披露しました。

油火災の消火訓練

▽無火災表彰

二十四年 第一分団(大浜)  
 十一年 第五分団(淡浦)  
 二十四年 第十九分団(島津)

## 民話と伝説

伊方町誌 豊村岡村  
 文補 宇都宮利久(前伊方小教頭)  
 原補 さし絵

今からおよそ三百年ぐらゐ昔のことです。伊方越の浜でな、一人の百姓が魚を釣っていたら、仏像が流れ着いたそうです。信仰の厚いその百姓は、これは意外なことじゃとみんなに話し、伊方越の長老にも見せることになったそうです。すると、長老が言うことには、「縁起でもない、この村に、とがいなた

りがあるかもしれないので、早よう浜に持って行って流せ」と予言めいたことを言われたそうです。その当時の村人は迷信に弱いたので、百姓もあわてその仏像を元の海に流したがです。すると、今度はそれが亀浦の浜に流れ着いたと言います。毎日ぐらゐ磯好きなおかめ婆さんは、それを見て、あまりにも珍しいことなので、その仏像を拾って帰る、亀浦のお堂(慈光院観音堂)に祀ってたいせつに供養したそうです。ところが、どうしたことか、それ以来、亀浦には産婆はない、難産のおりなど困ったいたのに、そのときからびたりとなくなつたそうです。村人は、そんなことがあつてからとも言うておますが、いずれにしろ、亀浦では難産する人がなくなつたので、お堂へお参りする人も多くなつたのです。

### あしがき

## 子安観音と底なし袋

### 亀浦



今月から、町の「民話と伝説」を紹介し、第一回は亀浦に伝わる「子安観音と底なし袋」を取りあげました。原文は伊方町誌から、読みやすくするため社会教育指導員の岡村豊さんに調査や聞きとりにもついて補作をしていただきました。なお、さし絵は前伊方小学校教頭の宇都宮利久さん(現塩成小学校長)にお願いしたものです。話しの内容がイメージで書いていただきましたので本物の仏像とは異なっています。



歳時記

メダカ

ドンバイコ、メンダ、コマンジャコ、オキ...

体長2.5センチから4センチ、日本の魚の中...

メダカの群れが列を作ってスイスイ泳ぐの...

なお、集団登校をさせる場合には、子供が...

ドライバーの皆さん、入学シーズンは、特...



さわやか



憲法が保障されている基本的...

町人権擁護推進協議会では...

昭和五十七年度の区長会(林...

国民年金の保険料が、四月...

総額五億円 平均三十万円も...

五月三日は憲法記念日。こ...

もう一度憲法の精神を見直し...

人権文集配布...

まごころ銀行...

一カ月五千八百三十円に 国民年金の保険料が改正

毎月保険料を負担していた...

人権を見直す週間

五月一日から七日まで

今からでも加入を

交通災害共済 昭和五十八年度の...

お礼

まごころ銀行

広報編集寄付

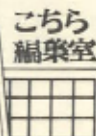
お誕生おめでとう

えんむすび 昭和58年2月1日

おくやみ

自衛官募集

防衛庁では、二等...



こちら編集室 新しいランドセルを...

昭和58年3月1日現在 世帯数2,623戸(一戸)

8,827人 男4,274人(+4人) 女4,553人(-2人)